

# 主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	政策部		
	20002	JR加太駅舎改修事業	課名	政策推進課 交通政策G		
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計	01:一般会計
		基本施策	05:公共交通網の充実		款	07:商工費
		施策の方向	02:公共交通機関の利便性向上と利用促進		項	02:開発費
		戦略プロジェクト	-		目	02:軌道交通近代化促進費
事業予定期間	R 2 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等	鉄道事業法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、バリアフリー法			

② 目的・概要	対象	市民及び鉄道利用者
	目的	JR加太駅舎を改修し、鉄道利用者等の利便性を向上させるとともに、歴史観光資源や地域のにぎわい交流・情報発信の場として活用する地域活性化拠点を整備する。
概要	西日本旅客鉄道株式会社から既存のJR加太駅舎の無償譲渡を受け、地域活性化拠点として改修するため、実施設計及び改修工事(外構・耐震補強を含む)等を行う。また、施設の管理・運営について、西日本旅客鉄道株式会社及び加太地区まちづくり協議会等と調整を進める。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画		○加太駅舎改修 ・実施設計  ○管理体制の決定	○加太駅舎改修 ・改修工事 ・工事監理	
	年度実績		○加太駅舎改修 ・実施設計 ○加太駅舎活性化委員会及び西日本旅客鉄道株式会社との協議	○加太駅舎改修 ・工事完了 ○地元(加太駅舎活用委員会)との協議 ○西日本旅客鉄道(株)との協議	
事業額	計画額	事業費	4,900千円	37,400千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	0千円	4,900千円	37,400千円	
	予算額	事業費		3,669千円	38,550千円
		国庫支出金			17,365千円
		県支出金			
		地方債			
その他					
一般財源	0千円	3,669千円	21,185千円		
決算額	事業費 ①		3,574千円	38,037千円	
	国庫支出金			17,365千円	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	0千円	3,574千円	20,672千円		
人件費	総人件費 ②	0千円	3,920千円	7,903千円	
	一般職員	0千円	3,920千円	7,903千円	
	所要人員		0.50	1.00	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		0千円	7,494千円	45,940千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 事業進捗状況	計画値		工事完了
		JR加太駅改修事業の進捗状況	実績値		工事完了
			単位		
②	名称 事業進捗率	計画値		11	100
		実績値		11	100
		単位		%	%
③	名称	計画値			
		実績値			
		単位			

⑤ 事業の改善	【前回評価の対応方針の概要を記入】	改修工事の段階から加太保育園や加太小学校の園児・児童に関わってもらうなど、加太駅舎に愛着を持ってもらう工夫を行い、地域活性化拠点として、地域住民やJR利用者に未永く利用してもらえるよう、地元との協議を継続して行っていく。
	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】	地域活性化拠点として、地域住民やJR利用者に未永く利用してもらえるよう地元(加太駅舎活用委員会)との協議を5回行った。また、加太保育園や加太小学校の園児・児童が製作したアートパネルを加太サロン内に設置し、加太駅舎に愛着を持ってもらう工夫を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 令和2年度に行われた加太駅舎活用委員会との協議を踏まえた実施設計に基づき、JR加太駅舎の改修工事に着工し、年度内に完成することができた。また、令和4年3月には、地域との協働によるアートパネルの設置を含む記念式典も開催することができた。その他、地域(加太駅舎活用委員会)や西日本旅客鉄道(株)と、今後の利用方法や管理体制等について協議することができた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 JR加太駅舎を地域の歴史ある資源として磨き上げるため、令和元年度に西日本旅客鉄道(株)より無償譲渡を受け、地域とJR加太駅舎の活用方法や改修方法等の協議検討を重ね、令和3年度に改修工事が完了し、鉄道利用者等の利便性の向上につなげることができた。加えて、地域の歴史観光資源や地域のにぎわい交流・情報発信の場という付加価値により「にっぽん木造駅舎の旅100選」にも選ばれた加太駅舎の佇まいと温もりを残しながら、地域の活性化拠点施設として地域や利用者に親しまれる駅舎として整備することができた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 魅力ある地域活性化拠点としていくため、今後の活用方法や実際に管理・運営していく中で出てくる課題等について、必要に応じて地元(加太駅舎活用委員会)と協議を行う必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 地域住民やJR利用者等に未永く利用してもらえるよう、地元(加太駅舎活用委員会)と、加太駅舎を活用した地域の活性化や管理・運営についての協議を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 加太駅舎のみならず、駅舎を核とした地域の持つ魅力を最大限に発揮していくことにより地域の活性化につなげることができる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	政策部 政策推進課 交通政策グループリーダー 服部 任之
【最終評価者】	政策部 政策推進課長 大平 守

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動				A	A
	成果				A	A

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		38,550 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	38,550 千円
	令和4年度への繰越額	千円